

# 酒電協だより

編集・発行  
酒田電気工事協同組合  
Tel 0234-22-3639  
Fax 0234-22-3641  
Eメール s-kumi@sage.ocn.ne.jp

## 平成24年 復興元年によせて



理

事長 中村 穰

明けましておめでとうございます。人類の歴史に残るであろう一年が幕を閉じ、辰の年が到来しました。冒頭はまず、昨年秋に組合員皆様の温かい御協力のもと、当工事組合の創立 50 周年式典と関連事業を恙なく挙げてきたことに対し、厚く御礼申しあげます。今年 5 月には各地区組合の連合体である県電気工事工業組合の同じく 50 周年事業を控えていますが、単一組合として、この周年事業をなし得たのは県内唯一、酒田だけであることには誇りを持ちたいと思います。

ただ新年の賀詞が今年ほど、空しくまた東北人として罪悪感に囚われる年はないように感じます。脳裏に烙印を押されてしまったあの東日本大震災・津波の惨状とそれから二次派生して、天災本体をも上回る被害を呈している福島原発事故。亡くなった人は勿論のことですが、いまだ故郷に戻れない被災者、更には二度と帰るところを失った人々、廃業はもとより実数 12 万人以上とも言われる震災により失業された方たち、そんな人々を思うにつけ現状で義援金の寄付しか救いの手立てを持たない我々は心が痛みます。

いたわりの念は尽きませんが、我が業界を取り巻く状況に目を移せば、この原発事故により、それまでの化石燃料による地球温暖化防止とは違う視点で、再生可能エネルギーの利活用が改めて重要視されてきています。また政府は電力の安定供給や料金の抑制をにらみ、「発送電分離」の取っ掛かりとして送配電事業を、機能分離という手法を主軸にして一括運営する公的機関(日本版 ISO)の設立を検討していることが、つい最近明らかになりました。今後、長いスパンで私共の生業の源である電気の作り方、送り方、使い方が大きく変わっていくことは間違いのないことだろうと思います。ピンチはチャンス！今年も玉を持つ龍のように的確な神通力で先を見通し“上を向いて”頑張りましょう。今年一年の組合員皆様の御多幸をお祈りいたします。

# 平成24年を迎えて



東北電力株式会社酒田営業所

所長 武井 隆

新年明けまして、おめでとうございます。

酒田電気工事協同組合の皆様には、日頃より当社事業運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返るとともに当社を取り巻く情勢と今後の取組み等をご紹介します、ご挨拶といたします。

## 自然災害に見舞われた一年

昨年は、当社にとっては創立60周年という記念すべき年でしたが、幾多の自然災害に見舞われた多難な一年となりました。

まず、年初めに岩手県・青森県を中心に雪害による大規模な停電が発生しました。そして、3月11日には東日本大震災が発生し、当社設備も甚大な被害を受け、延べ486万戸のお客さまが停電するなど、当社創立以来最大の災害となりました。

さらに、7月末には新潟県・福島県において記録的な豪雨による水害が発生し、当社水力発電設備100万kWが失われました。その後、9月には、台風15号による停電被害なども発生しました。

## 平成23年度上期の電力需要と決算概要等

震災による地域経済のダメージにより、電力需要は前年比較 15%と大きく落ち込みました。また、被災した発電所などの復旧費用、そして原子力や石炭火力さらには水力発電所の停止に伴う燃料費の大幅な増加などにより、23年度の間接決算は、当社単体で790億円の経常損失という、創立以来最大の赤字となりました。

さらに、原子力発電所の再稼働時期が見通せないことなどから、23年度の業績予想は未定とし、中間配当も見送らせていただく事態となっています。

## 今年の需給動向

震災後に落ち込んだ電力需要が元に戻るまでには、しばらく時間を要するものと思われれます。一方、太平洋岸自治体の復興に向けた取組みは着実に進展し、企業や工場での生産活動が再開されるとともに自動車関係の新工場操業開始など明るい兆しも見えております。

供給力に関しては、昨年末の当社新仙台1号や仙台4号の発電再開に加え、当社が半分を受電している相馬共同火力や常磐共同火力も運転を一部再開しております。今後は、ガスタービンなど緊急設置電源の運転開始、被災した発電所の復旧を加速してまいります。

今年も計画停電を極力回避し、電力の安定供給を通じて、地域経済の復興を後押し・支援できるようにしていきたいと考えております。

## エネルギー政策の動向等

現在、国において、新たなエネルギー基本計画や電気事業制度の見直しなどに関する議論が行われており、昨年末には、エネルギーミックスの基本的方向性やエネルギー政

策の改革の方向性に関する論点が示されました。

具体的には、「原子力を縮減するのか」、「それに替わるエネルギーは何か」、「新規事業者や再生エネルギー活用のために発送電を分離すべきか」などがテーマとして取り上げられております。

これらの課題を踏まえて、国のエネルギー政策や電気事業体制の見直しなどが本格的に議論され、今年中には改革の方向性が示されると思われまます。このような経営環境の大きな変化に対し、どのような事業制度や体制になっても「電気」という暮らしや経済を支える公共インフラを預かる電気事業の本質は変わらないものと考えております。電気はエネルギーの最優良商品であり、高齢化・成熟社会を迎える日本では、必要不可欠のエネルギーであります。当社は、今回の大震災をはじめ、多くの災害において、停電の早期復旧などで一貫体制の強みを発揮し、お客さまの期待にお応えしてまいりました。

今後も安全確保を大前提に安定供給・環境適合・経済性の基本ニーズを充たし、お客さまや地域社会の期待に応えてまいります。

地域とともに

当社は昭和26年の創業以来、「地域との共栄」を基本理念としてきました。

今後、電気事業体制などが議論される中でも地域にとって当社が必要な存在であり、信頼される企業となるよう地域の復興を積極的に支援するとともに、地域社会との連携を強化してまいりますので、酒田電気工事協同組合の皆様には、今後とも宜しく願い申し上げます。

## 『酒電協だより』に寄せて

株式会社エルク酒田営業所  
所長 関 修

酒田電気工事協同組合の皆様には、日頃よりご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今回『酒電協だより』への寄稿にあたり、当社の生い立ちや事業内容などについて若干紹介させていただきます。当社は、昭和61年東北電力株式会社の全額出資により設立され、今年で26年目を迎えます。酒田事業所は、平成8年に開設し、現在は社員5名体制で営業しております。主な業務内容としては、オール電化住宅プラン・住宅電気設備の提案、エコキュート・ヒートポンプ式暖房機器・IHクッキングヒーター等の販売・施工、エコキュート、IHクッキングヒーターのリース「すぽっ!と電化リース」等となります。

さて、酒田事業所開設当初は、高気密・高断熱のいわゆる省エネルギー住宅の普及に伴い、電気温水器や蓄熱式電気暖房器など深夜電力利用のヒーター系の機器の普及・販売活動に明け暮れました。そんな中、酒田電気工事協同組合の皆様からは、現場経験の乏しかった私共に対して、機器導入の際いろんな場面でご指導やアドバイスをいただきました。また、販売促進イベントの実施などで深夜電力利用機器の普及促進にもご尽力いただきました。改めて感謝いたしております。

近年は、環境・省エネ性に優れたヒートポンプ利用の給湯や暖房システム機器の普及・販売を重点に営業を展開して参りましたが、東日本大震災を境に我々を取り巻く環境が一変いたしました。当社も、東北電力企業グループの一員として『東北電力グループの

総力を結集せよ、東北の復興は電気から』のスローガンを掲げ、現在電気温水器から省エネ性に優れたエコキュートへの買替え促進に精力的に取り組んでいるところであります。

先般、酒田電気工事協同組合創立50周年記念式典で中村理事長が式辞で述べられた、『東日本大震災により発生した大停電で、電気は改めて現代生活に不可欠なライフラインであると思ひ知らされた。時代の波に適合しつつ、不断の努力と模索を積み重ねていきたい』という話に同感いたしました。酒田電気工事協同組合の皆様とは、電気事業に携わる者としてお互いのメリットを見い出しながら今後も協調して行ければと思っておりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、今年は辰年であります。『竜の水を得るが如し』ということわざがありますが、酒田電気工事協同組合の皆様のごこれまで培われてきた力が機会を得て、いよいよ一層発揮される良い年となりますようご祈念申し上げます。

## 『酒電協だより』に寄せて

財団法人東北電気保安協会 酒田事業所  
所長 中 里 源

あけましておめでとうございます。穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。酒田電気工事組合の皆様には、日頃より当協会事業運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然の驚異と原子力の恐怖をまじまじと感じた一年でありました。被災地の一日も早い復興と原発事故収束を祈りつつ、今年こそは活力ある一年となることを願いたいものです。

さて、皆様すでにご存知のこととは思いますが、「協会のあらまし」を簡単にご紹介させていただきます、ご挨拶とさせていただきます。

東北電気保安協会は、本年2月15日をもって創立46周年を迎えようとしており、調査業務・広報業務・保安業務の3本柱を基本として業務展開を図っており、いずれの業務も電気を相手とするものとして、皆様と深いつながりを持っています。

電気を安全に使用していただくため、調査員が定期的に訪問し、住宅や商店等の電気的安全診断を行っているのが「調査業務（定期調査）」であり、現在では山形電気安全サービス様と地域を分担し実施しています。

「広報業務」は、電気を安全に安心してご使用いただくために、テレビCMやポスター・チラシの配布、広報誌の発行のほか、「電気安全講習会の開催」「電気安全移動相談所の開設」「公共施設、高齢者宅等の特別安全診断」等の活動を行っています。

次に「保安業務」ですが、電気をたくさんご使用いただく工場やビル等の電気設備では、電気主任技術者を選任し、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督をさせなければなりません。私たちは、その電気主任技術者の代務を行っています。「設計の審査、工事中の点検及び竣工検査」「定期（月次・年次）点検及び臨時点検」「事故発生時の応急処置、再発防止」「官庁検査の立会い」「電気保安に係わる指導・助言等」高度な組織力と技術力でサポートします。

大変堅苦しいことを並べてしまいましたが、電気に携わるものとして、お客さまに電気を安全に安心してご使用いただくためを目的としていることは、酒田電気工事協同組合の皆様も私ども東北電気保安協会も同じでございます。

最後になりますが、今年も安全第一で健康な体のもと、無事故無災害を継続されますことをご祈念申し上げます。

尚、当協会は本年4月1日より「一般財団法人東北電気保安協会」として新たにスタートいたします。引き続きよろしくご祈念申し上げます。

## 12月・1月の動き

- 1月10日(火) 彩の会 シクラメン部会
- 11日(水) 総務部会
- 13日(金) 県工組 新年会
- 16日(月) 酒田協同電気(株)運営委員三役会
- 17日(火) 事業部会
- 19日(木) 理事会
- 19日(木) 組合初会合
- 20日(金) 山電協 新年会
- 23日(月) 企画部会
- 24日(火) 主任電気工事士研修会

## これからの予定

- 1月26日(木) 鶴電協 新年会
- 27日(金) 青年部会 新年会
- 27日(金) 彩の会 新年会
- 2月 3日(金) 青年部会主催 献血活動



下記URLの県工組ホームページにて  
酒電協だよりを『平成24年1月360号』から  
電子データでご覧になれます

<http://www.y-koso.or.jp/>

